

心臓血管外科周術期患者の下肢骨格筋量と身体機能

及び生活の質に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究実施体制（機関と責任者）

代表研究機関 大阪けいさつ病院 リハビリテーション技術科 理学療法士 田中孝平

共同研究機関 済生会熊本病院 リハビリテーション部 小川稜太

他、国立循環器病センター、北里大学病院など

研究の目的

心臓血管外科手術を受けた患者さんでは、手術後に息切れや疲労感が生じやすいことで一時的に体力が低下し、日常生活の制限や生活の質が低下することがあります。

本研究の目的は、手術前後の下肢の筋肉量をエコー検査で評価し、筋肉量と日常生活の自立度（歩行や階段昇降、着替えができるか等）および生活の質（移動や普段の活動に問題がないか、痛みや不安がないか等）との関係を調べることです。

本研究の取り組みは、今後の入院中や退院後のリハビリテーションの改善に役立てられると考えています。

研究の方法

- ・ 通常診療の範囲内で得られる情報を利用します。
- ・ カルテから年齢・性別・診断名・手術情報・リハビリ経過などの医学的な情報を収集します
- ・ 筋肉量はエコー検査で測定し、日常生活の自立度や生活の質についてアンケート用紙で評価します。
- ・ 術後1か月、6か月にアンケート用紙をご自宅にお送りして、退院後の日常生活の自立度や生活の質についてお尋ねします。
- ・ 追加の検査（採血や放射線検査など）は行いません。

研究の対象となる方

当院で心臓弁膜症または冠動脈疾患に対して開心術を受ける成人患者さんを対象としています。該当する患者さんにご協力をお願いしています。

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、発症から治療開始までの期間、手術の有無など

本研究では、診療の過程で得られる情報に加え、エコーによる筋厚、QOL評価の為のアンケート評価を実施します。侵襲を伴うような、新たな試料採取や追加検査は行いません。

利用開始予定日：2025年12月24日

研究予定期間

2025 年 12 月 24 日～2030 年 12 月 31 日

個人情報の取り扱い

本研究では、研究実施許可日より、大阪けいさつ病院へ情報提供を行います。当院からの情報提供の際に、氏名等を削除し、個人が特定できないよう加工するため、患者さんのプライバシーは守られます。研究の成果は学会等で発表予定です。

〔研究の情報管理責任者〕 リハビリテーション部 小川稜太

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用・提供されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用・提供を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 リハビリテーション部 小川稜太

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)